

ソンカム・ポンマハサイ（ラオス）



皆さまこんにちは。私はラオスから来ましたソンカム・ポンマハサイと申します。私の出身国のラオスは、中国、ミャンマー、タイ、カンボジア、ベトナムと国境を接する東南アジアの内陸国です。私は、2010年にラオス国立大学で環境管理コースの学士号を取得しました。

現在、ラオス労働福祉省防災課副局長として働いています。私の主な仕事は、災害被災者、貧しい人々、恵まれない人々、特別な支援が必要な子どもたち、人身売買の被害者の支援と救済を行うことです。また私の部署は、リスク情報、リスクマップを収集し、災害サイトを準備するために関係者と調整を行うこともあり、中央および地方における防災の国家戦略および行動計画の作成、災害データベースシ

ステムの開発、DRRの実施の中心的な役割を担っています。

今回、アジア防災センターの客員研究員への参加の機会をいただき、大変嬉しく思っています。本プログラムに参加することに常に興味を持っていました。また、日本は災害リスク管理に関して最も優れた実施体制を持っているので、コミュニティベースの災害リスク管理に関する知識を得て、経験を積みたいと思っています。日本で学べる経験は、ラオスにおける私の仕事をより効果的に改善するために非常に重要だと感じております。

最後に、すべての関係者の方々、特にこの重要な客員研究員プログラムに参加するための資金援助と機会を与えてくださった日本政府の方々に心から感謝いたします。

ありがとうございます！